



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月10日

上場会社名株式会社リンクバル

上場取引所 東

コード番号6046 URL <https://linkbal.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）吉弘 和正

問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）松岡 大輔 TEL 050 (1741) 2300

四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年9月期第2四半期の業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	430	29.4	△118	-	△117	-	△118	-
2022年9月期第2四半期	332	△11.3	△180	-	△176	-	△175	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	△6.32	-
2022年9月期第2四半期	△9.42	-

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,670	1,278	76.5
2022年9月期	1,689	1,393	82.5

（参考）自己資本 2023年9月期第2四半期 1,278百万円 2022年9月期 1,393百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年9月期	-	0.00	-	-	-
2023年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,201	57.1	10	-	10	-	10	-	0.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	19,500,000株	2022年9月期	19,500,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	785,698株	2022年9月期	800,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	18,704,461株	2022年9月期2Q	18,661,414株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	10
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向が続いているものの、急激な円安は依然として続き、原油をはじめとする原材料価格の高騰による物価上昇が止まらず、個人消費の下押し要因となっており、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

このような経営環境の下、当社は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から感染防止措置を講じながら「machicon JAPAN」掲載イベントの強化・拡大をまいりました。また、コロナ禍におけるオンラインでの出会いを提供するマッチングアプリ「CoupLink」の運営についても引き続き積極的に展開しております。

この結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は430,115千円（前年同四半期比29.4%増）となりました。損益面では、売上原価、販売費及び一般管理費合計が548,129千円（前年同四半期比6.9%増）となりました。その結果、営業損失は118,013千円（前年同四半期は営業損失 180,223千円）となりました。また、経常損失は117,835千円（前年同四半期は経常損失 176,474千円）、四半期純損失は118,171千円（前年同四半期は四半期純損失 175,737千円）となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

#### (イベントECサイト運営サービス)

2023年3月末でリンクバルID会員数は251万人を突破し、当第2四半期累計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は290,992千円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

#### (WEBサイト運営サービス)

「CoupLink」および「KOIGAKU」につきましては、積極的なマーケティング投資を行い、当第2四半期累計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は139,123千円（前年同四半期比47.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,670,589千円となり、前事業年度末に比べ19,072千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の増加が30,680千円、投資その他の資産の増加が15,068千円、売掛金の増加が9,451千円あったものの、現金及び預金の減少が77,905千円あったことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は392,296千円となり、前事業年度末に比べ96,098千円増加いたしました。これは主に、未払金の減少が2,342千円あったものの、短期借入金が増加が100,000千円あったことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,278,293千円となり、前事業年度末に比べ115,171千円減少いたしました。これは主に、資本剰余金の増加が227,286千円あったものの、資本金の減少が231,000千円、四半期純損失等の計上による利益剰余金の減少が118,171千円あったことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末から77,905千円減少し、1,485,322千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動により使用した資金は123,796千円（前年同四半期は177,040千円の支出）となりました。これは主に、税引前四半期純損失が117,835千円、売上債権の増加が9,451千円となったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動により使用した資金は52,446千円（前年同四半期は1,666千円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が32,119千円、敷金の差入による支出が12,272千円、関係会社貸付けによる支出が10,000千円となったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動から得られた資金は98,338千円（前年同四半期は100,000千円の収入）となりました。これは主に、短期借入れによる収入が100,000千円となったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2022年11月4日に公表した通期業績予想から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,563,228	1,485,322
売掛金	25,027	34,478
未収入金	36,035	34,764
その他	15,522	23,327
貸倒引当金	△515	△381
流動資産合計	1,639,298	1,577,512
固定資産		
有形固定資産	11,331	42,012
無形固定資産	7,749	4,714
投資その他の資産	31,282	46,350
固定資産合計	50,363	93,076
資産合計	1,689,661	1,670,589
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,185	1,437
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	3,047	3,047
未払金	84,440	82,098
未払法人税等	2,375	265
未払消費税等	5,916	5,063
前受金	8,557	14,206
預り金	17,786	16,090
賞与引当金	16,445	16,350
その他	14,853	13,485
流動負債合計	154,609	252,044
固定負債		
長期借入金	116,122	114,460
資産除去債務	4,524	4,530
長期預り保証金	19,700	19,950
その他	1,241	1,311
固定負債合計	141,587	140,251
負債合計	296,197	392,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	281,000	50,000
資本剰余金	276,000	503,286
利益剰余金	1,205,959	1,087,787
自己株式	△369,555	△362,842
株主資本合計	1,393,403	1,278,232
新株予約権	61	61
純資産合計	1,393,464	1,278,293
負債純資産合計	1,689,661	1,670,589

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	332,527	430,115
売上原価	15,410	27,082
売上総利益	317,116	403,032
販売費及び一般管理費	497,340	521,046
営業損失(△)	△180,223	△118,013
営業外収益		
受取利息	48	78
助成金収入	2,500	-
受取補填金	1,363	-
法人税等還付加算金	13	-
貸倒引当金戻入額	-	134
その他	10	1
営業外収益合計	3,936	213
営業外費用		
支払利息	42	35
その他	144	-
営業外費用合計	186	35
経常損失(△)	△176,474	△117,835
特別損失		
固定資産除却損	218	-
特別損失合計	218	-
税引前四半期純損失(△)	△176,692	△117,835
法人税、住民税及び事業税	271	266
法人税等還付税額	△929	-
法人税等調整額	△296	69
法人税等合計	△955	335
四半期純損失(△)	△175,737	△118,171

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△176,692	△117,835
減価償却費	3,981	4,473
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	△134
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,168	△95
受取利息及び受取配当金	△48	△78
支払利息	42	35
助成金収入	△2,500	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,427	△9,451
未収入金の増減額 (△は増加)	△3,185	1,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	52	251
未払金の増減額 (△は減少)	23,796	△2,342
未払又は未収消費税等の増減額	△943	△853
前受金の増減額 (△は減少)	1,804	5,648
預り金の増減額 (△は減少)	943	△1,696
その他	△24,752	△2,502
小計	△182,095	△123,307
利息及び配当金の受取額	48	78
利息の支払額	△42	△35
助成金の受取額	2,500	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	2,549	△531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△177,040	△123,796
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	-	△32,119
敷金の差入による支出	-	△12,272
関係会社貸付けによる支出	-	△10,000
関係会社貸付金の回収による収入	1,666	1,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,666	△52,446
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	-	△1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	100,000	98,338
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75,374	△77,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,830,273	1,563,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,754,899	1,485,322



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年12月16日開催の第11回定時株主総会に基づき、2023年1月23日付で減資の効力が発生しております。この結果、当第2四半期累計期間において、資本金が231,000千円減少、その他資本剰余金が231,000千円増加しております。

また、2023年1月13日開催の取締役会に基づき、譲渡制限付株式報酬として2023年2月1日を期日とする自己株式14,562株の処分を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において、自己株式が6,713千円減少、その他資本剰余金が3,713千円減少しております。

これらの結果、当第2四半期会計期間末において資本金は50,000千円、資本剰余金は503,286千円、自己株式は362,842千円となっております。

## (追加情報)

## (新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染拡大の影響の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

## (会社分割(簡易新設分割)による子会社設立)

当社は、2023年3月30日開催の取締役会において、簡易新設分割により、当社の完全子会社として株式会社MiDATAを設立し、当社AI推進事業を新設会社に承継させること(以下、「本件分割」といいます)を決議いたしました。

なお、本件分割は当社単独の簡易新設分割であるため、開示事項及び内容の一部を省略しております。

## 1. 会社分割の目的

当社は、当社事業に対するAI導入をサポートする部署として、2020年7月にAI推進室を発足し、当社事業に対するAI推進を拡大してまいりました。当該AI推進室では、レコメンドエンジンの開発に加え、マッチングエンジンの開発、業者検知など多岐にわたる開発を実施してまいりましたが、社会への価値提供を最大限に高めるために、AI開発に係るサービスの社外への外販を行う事業を開始することといたしました(以下、「本件事業」といいます)。

今般、本AI開発サービスの拡大を目指し、同事業を会社分割の手法を用いて当社の完全子会社にすることといたしました。これにより独立会社として経営責任の明確化を図るとともに、意思決定の迅速化及び機動的な事業運営を実現し、同事業の競争力および企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

## 2. 会社分割の要旨

## (1) 会社分割の日程

取締役会決議日 2023年3月30日

分割期日(効力発生日) 2023年5月11日(予定)

(注)本件分割は、会社法第805条の規定に基づく簡易新設分割に該当するため、株主総会の承認決議を経ずに行うこととしております。

## (2) 会社分割の方式

当社を分割会社とし、本件分割により設立される新設会社を承継会社とする簡易新設分割であります。

## (3) 会社分割に係る株式の割当ての内容

新設会社は本件分割に際して普通株式600株を発行し、その全てを当社に割当交付いたします。

## (4) 分割会社に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行済の新株予約権について本件分割による取扱いの変更はありません。また当社は新株予約権付社債を発行しておりません。

## (5) 会社分割により増資する資本金等

本件分割に際して当社の資本金の増減はありません。

## (6) 新設会社が承継する権利義務

効力発生日における当社の本件事業に関する資産、負債及びこれらに付随する権利義務を承継いたします。

## (7) 債務履行の見込み

本件分割の効力発生日後において、新設会社が負担すべき債務について履行の見込みに問題がないものと判断しております。

## 3. 分割当事会社の概要

## (1) 分割会社の概要 (2023年3月31日時点)

① 名称	株式会社リンクバル	
② 所在地	東京都中央区明石町7-14築地リバーフロント6F	
③ 代表者の氏名・役職	代表取締役社長 吉弘 和正	
④ 事業内容	イベントECサイト運営サービス WEBサイト運営サービス その他関連アプリ運営サービス	
⑤ 資本金	50百万円 (2023年1月23日時点)	
⑥ 設立年月日	2011年12月9日	
⑦ 発行済株式総数	19,500,000株	
⑧ 決算期	9月30日	
⑨ 大株主および持ち株比率	株式会社Kazy 39.03% 吉弘 和正 22.40% 自社 4.03% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 3.37% 五味 大輔 2.10% 根本 純 1.79% 張 溪媛 1.71% 松岡 大輔 1.39% 株式会社SBI証券 1.37% 松原 信重 1.28% 楽天証券株式会社 0.61%	
⑩ 直近事業年度の財政状態及び経営成績 (2022年9月期)	純資産 総資産 1株当たり純資産 売上高 営業損失 経常損失 当期純損失 1株当たり純損失	1,393百万円 1,689百万円 74円51銭 765百万円 △304百万円 △300百万円 △312百万円 △16円71銭

## (2) 新設会社 (2023年5月11日設立予定)

① 名称	株式会社MiDATA	
② 所在地	東京都中央区明石町7-14築地リバーフロント6F	
③ 代表者の氏名・役職	代表取締役社長 後藤 司	
④ 事業内容	各種 AI 開発事業および AI コンサルティング事業の展開	
⑤ 資本金	30百万円	
⑥ 設立年月日	2023年5月11日	
⑦ 発行済株式総数	600株	
⑧ 決算期	9月30日	
⑨ 大株主および持ち株比率	株式会社リンクバル 100%	

## 4. 分割する事業の概要

## (1) 分割の事業内容

AIに係る開発事業およびコンサルティング事業の展開

## (2) 分割する事業の経営成績

2022年9月期売上高：-百万円

(注) 本件事業は、今後外販を実施する新規事業であり、直前事業年度における収益寄与はありません。

## (3) 分割する資産、負債の項目及び金額

資産		負債	
項目	帳簿価額 (百万円)	項目	帳簿価額 (百万円)
流動資産	30	流動負債	-
固定資産	-	固定負債	-
計	30	計	-

(注) 承継する資産及び負債の金額は2022年9月末現在の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎としております。実際に承継する資産及び負債の金額は、上記から変動する可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 3. その他

## 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度まで、営業損失、経常損失、当期純損失を2期連続計上し、当第2四半期累計期間においても営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

このような事象又は状況を解消すべく、業績回復を目的とした既存主要事業の売上高強化のため新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながら、主に「machicon JAPAN」掲載イベントの強化・拡大、オンラインで出会いを提供する「CoupLink」の運営強化に注力して参ります。

また、当第2四半期会計期間末において、1,485,322千円の現金及び預金を保有しており、当事業年度の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社の資金繰りに重要な懸念はありません。

以上により、当社においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。